

理工学研究科（工学系）〈博士前期課程〉の教育目標及びディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて

【教育目標】

山形大学大学院の教育目標を踏まえ、理工学研究科(工学系)では、社会の変化に対応して課題を解決する持続的イノベーションを創出するために、深化した専門知識と文理兼修による幅広い視野を身につけ、社会の発展に貢献する科学者・技術者の養成を目標としています。

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、理工学研究科（工学系）では、地域創生・次世代形成・多文化共生に資する以下のような知識や能力を有し、定められた審査等に合格した者に学位を授与します。

1. 豊かな人間力

- (1) 俯瞰的・複眼的視野から社会の課題を把握する能力を身に付けている。
- (2) 社会の変化に対応して、異分野連携を推進しながら、課題解決・地域創生を推進できる能力を身に付けている。

2. 深化した専門知識・技能と文理兼修による幅広い視野

- (1) 専門とする工学分野の科学・技術に関する幅広く深い知識と技能に加えて、異分野の学問に関する知識を身に付けている。
- (2) 科学・技術を発展させる上で必要な論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、習得した知識と技能を自在に応用できる能力を身に付けている。

3. 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力

- (1) グローバルな視野に基づいて情報を収集し、多文化が共生する社会の創生に貢献する能力を身に付けている。
- (2) 世界に向けて自らが発見した科学的知見や革新的な技術を発信する能力を身に付けている。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)のもと、理工学研究科（工学系）では、修了認定・学位授与の方針に掲げる知識・技能・

能力の養成を目的に、以下の方針に従って教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成・実施等

(1) 豊かな人間力を涵養し、知の総合的推進力を養成する基礎教育科目及び基礎専門科目と、専攻領域の基礎から先端分野にわたって専門的知識・技能の深化を図る高度専門科目からなる体系的な教育課程を編成する。

(2) 論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、修得した知識と技能を自在に応用できる能力と、自らが発見した科学的知見や革新的な技術を発信する能力を身に付けるため、演習科目及び実験科目を設ける。

2. 教育方法

(1) 講義科目においては、適宜グループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れ、知識のより深い理解を促す。

(2) 演習科目及び実験科目では、複数の教員が指導に当たり、専門的な知識や技能を実践的に体得させる。

3. 教育評価

(1) 成績評価基準に基づき厳格な評価を行う。

(2) 博士前期課程(工学系)の学位基準に基づき、学位論文を評価する。